にいがた
市報
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 本間高明
(担当企画部広報課)
印刷所 ㈱第一印刷所

市の人口

		前月比
人口	413,818	(+757)
男	202,425	(+386)
女	211,393	(+371)
世帯数	127,765	(+397)

49年10月末日現在

(おもな内容)

二面・三面 ●除雪はみんなの力で —対策本部の除雪計画—
四面 ●紙上討論 —私の生活と音楽—

十二月一日から バスレーンを設定

青山—専用レーン—県庁—優先レーン—新潟駅

新潟市の交通環境は、事故の多発や交通渋滞、公害の発生などで悪化してきました。このため、県警では、交通環境をよくするため十月一日から、都市総合交通規制を行いました。

十二月一日からは、さらに、国道一一六号線のバス専用レーン新潟駅から県庁までの、東大通柾谷小路、東仲通(万代橋を除く)のバス優先レーンの役定と、それにともなう交通規制を行います。内容は次のとおり

〈バスレーンの設定〉

バス専用レーン—国道一一六号線青山ショッピング前から県庁裏まで市内方向に向って左側端一車線

バス優先レーン—県庁から新潟駅まで両方向、左端各一車線(万代橋上は除く)

〈バスレーンの規制内容〉

時間 バスレーンの規制が行われるのは、午前七時半から午前九時までの間

バス専用レーン 営業用バス 自家用バス、原付き車、自転車以外は通行できません。

バス優先レーン 一般の自動車も通行できますが、後方から接近するバス(自家用バスを含む)の防げとなるような場合は通行してはいけません。

〈一方通行 右折禁止の規制〉

国道一一六号線と県道新潟寺泊柏崎線の交差点付近は左図のとおりです。

そのほか、昭和町五叉路は、市内方向への車が右折禁止。また、国道一一六号線を内野方面へ向かう車が、関屋本村町一丁目の五叉路の次の道(俗称 地蔵様通り)を右折することはできません。

〈バス路線系統停留所の変更〉

停留所の変更 信濃町バス停留所は市内線のみ市道上に移動します。

路線系統の変更 小針方面からの郊外線は国道一一六号線を県庁方向へ直行します。

有明線は高校通から右折して白山浦電車通に出る系統にかわります。

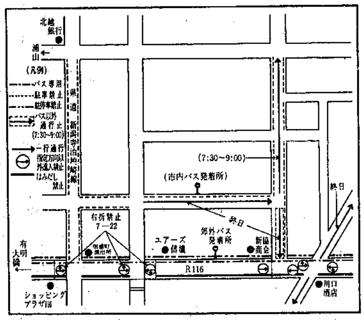
国道116号線通行区分

- バス専用(7:30~9:00) →
- 一般車両 →
- 内野・小針方面 ←

県庁→駅通行区間

- バス優先(7:30~9:00) →
- 一般車両 → →
- 一般車両 ← ←
- バス優先(7:30~9:00) ←

国道116号線 信濃町付近の交通規制



あすから火災予防週間

あす二十六日から十二月二日まで、秋の火災予防週間です。

これから、暖房器具を使うために、例年火災が多くなります。

この機会に、家庭や事務所などでは、次のようなことに気をつけ防火点検をやりましょう。

▼家庭での安全点検

今年市内でおきた火災(十月末まで)件数は百十一件、うち住宅火災が約半分の五十四件をしめます。そして死者も四人のうち三人が住宅火災によるものです。

これから、家庭での防火の大切さがよくわかります。

家庭で気をつけてほしいのは、

①暖房器具の安全点検

冬は、例年石油ストーブと電気ごたつを原因とする火災が多くあります。

とくに、周囲に燃えやすいものがあったり、外出時にスイッチを切らなかったりという、使用上の不手際が目立ち、留守家庭での火災発生が多いようです

器具の点検とともに、使用上の注意をよく守りましょう。

②老人、幼児、病人の就寝場所の点検

③たばこの投げ捨て、寝たばこの防止——たばこは例年火災原因の上位で、ことしも原因別のトップです。

④消火用具の準備

▼職場での防火点検

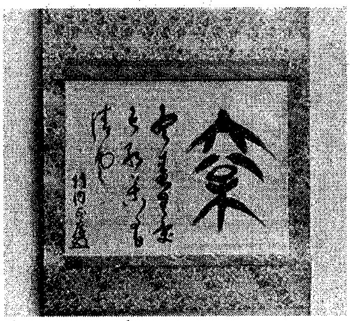
①指定場所での喫煙を徹底する
②火気使用場所の徹底
③通報連絡の徹底
④消火設備の使用方法の習熟
⑤避難経路の確保

▼百貨店、旅館、病院、複合用途防火対象物、地下街などの避難態勢と消火設備などの確保

①避難経路の案内
②避難誘導の徹底
③避難路の確保
④避難訓練の実施
⑤消防設備などの維持点検の実施

新潟市指定 文化財 ▷2◁

竹内式部の書(二)



〔書〕松(篆字(てんじ)で書いてある)

冬春無異
色朝暮有
清風
竹内正庵 花押

〔読み〕マツ

冬春色ヲ異ニスルコトナク、朝暮、清風有り。

〔意味〕松よ、おまえはなんというすばらしい木だ。冬でも春でも葉の色を変えないし、朝晩ともに清らかな風をおこしてくれる。ああ、ひともおまえのように変らぬ志操を持ちたいもの。

〔かたち〕紙本、墨書の五言対句。縦二十七センチ、横三十六センチ、掛け幅。

〔文化財としての種別〕有形文化財、書跡。

〔所在場所〕新潟市郷土資料館

〔説明〕白山公園にまいりますと、池のわきに仙台石のすばらしく大きな石碑が建てられております。大正二年のものですから、もう六十年も公園の四季を見おろしているわけです。題額は式部から習った通りに日本書紀を十八歳の桃園天皇に進講して問題となり、失脚してしまったと徳大寺公城(きんむら)の子孫が書いております。石碑の文章は白根出身で、明治二十二年「竹内式部君事迹考」をあらわした文学博士星野恒の作ったものです。

式部は幕府政治を批判する思想の持ち主として、宝暦九年(一七五九)五月、京都町奉行によって、京都付近、東海道筋、木曽路筋、越後の国などへは立ち寄るべからずという罰を言い渡されました。

式部四十八歳のときです。また、幕府に気がねする朝廷では、式部グループ二十三名に、髪をそらせたり、出勤停止を命じたりしました。これが宝暦事件です。

この事件ののち、式部は正庵と名乗ることになります。だから竹内正庵とサインしてあるこの書は、式部の不遇時代、晩年に書かれたものと思われます。そう思って眺めると円熟した文字でありながら、なんとなく行間に式部の憂愁が漂っているように感ぜられます。式部は永久に帰ることのできないふるさと白山さまの松でも思い浮かべて、筆をとったのでしょうか。

なおこの書は、蒲原出身で青森市におすまいの樋口義一郎氏が、明治百年に際し、新潟市に寄贈されたものであります。

池 政栄 (市郷土資料館長)

電話案内

本庁 28—1000
東総合庁舎 41—4111
東地区事務所
工業振興課
衛生課
公害課
清掃業務課
清掃施設課
東保健所
沼垂図書館
中地区事務所 74—0321
74—4039
西地区事務所 62—3111
62—3405
北地区事務所 59—2721
西保健所 66—5171
市民病院 41—5151
水道局 66—9311

新着図書

書名	著者名
父 吉川英治	吉川英明
これからの妊娠、出産、育児	中島唯夫
ソルジェニーツインの闘い	メドベージェフ
新潟県の歴史散歩	新潟県高等学校地方史研究会編
おおエレサレム (上)(下)	ラピエール
検定不合格日本史	家永三郎
推理小説の美学	H.ヘイクラフト
余暇社会の到来	音田正己 エルマーブラント
日本の伝統美を訪ねて	芝木好子
新風土記	朝日新聞社
古代探究	松本清張
桃季記	井上靖
黒い扇	平岩弓枝
異郷	加賀乙彦
うちの女房うちの息子	遠藤周作
鬼たちの声	田辺聖子
女心風景	水上勉
状況へ	大江健三郎
状況から	小田実
終戦直後 (上)(下)	三根生久大

図書館だより

読書会への招待

沼垂図書館

とりあげる作品		期日
書名	著者名	
天平の甍	井上靖	12/10
女坂	円地文子	1/10

○時間 午後6時~8時
○会場 沼垂図書館児童室(2階)
○テキスト 文庫体など各自ご都合ください。

市展 —併催 美術協会展—

美術の秋のしめくくりとして
市民の力作をごらんください。

搬入受付 11月25日 本日午後3時~6時 会場において
一般公開 11月27日~12月1日
会場 県美術博物館 入場無料
作品批評 12月1日 午前10時~正午
懇談会 参加自由

両川連絡所の庁舎の一部完成

12月2日(月)から執務開始

かねて工事の両川連絡所はこのほど一部(階下)の工事が完成しました。12月2日(月)から新庁舎において執務いたします。

12月の巡回市民相談

〈万代小学校区〉
とき 12月3日(火)
ところ 万代小1階理科室

〈栄小学校区〉
とき 12月5日(木)
ところ 栄小1階第2音楽室

〈礎小学校区〉
とき 12月10日(火)
ところ 礎小3階集合室

〈関屋連絡所地区〉
とき 12月12日(木)
ところ 関屋連絡所1階会議室

〈曽野小連絡所地区〉
とき 12月17日(火)
ところ 曽野木連絡所1階会議室

〈大形連絡所地区〉
とき 12月19日(木)
ところ 大形連絡所1階会議室

※ 時間はいずれも午後1時半~3時半